みいけ

発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話3033番
7140
編集兼発行人　境　孜

小型ニュース・カー〃みいけ〃が車体整備に行っていましたので機関紙配布が遅れたことをお詫びいたします。

山元交渉ついに決裂！

不屈に粘り強く闘う

力強く差別反対総決起大会

既報（八月三十一日付みいけ号外）のように、六月以降二カ月半にわたってつづけられていた山元交渉ートップ交渉は二十九日ついに決裂した。決裂後、三十日に市民会館で中央委員会をひらいて、交渉経過を報告し「山元交渉決裂にたいする当面の方針」をきめ、職場・地域における集会で不屈の闘魂を燃やしてたたかう意志統一をはかり、闘争体制の確立をいそいだ。そして、九月三日には笹林公園で「差別反対総決起大会」をひらいて、不動の団結でねばり強くたたかいぬく決意を固めた。

差別排除をはじめ、就労をめぐって問題になっていた余剰職種の配置転換問題などを解決するため、長期にわたってつづけられていた山元交渉ートップ交渉は、あくまで差別攻撃によって三池労組を破かいしようとする高姿勢をかまえで対決をせまってきた会社の強硬な態度で、ついに二十九日に決裂した。

組合では、三十日に午前十時から市民会館で、地域分会長、主婦会役員、評議員同席の中央委員会をひらいて、交渉決裂にいたるまでの経過を報告し「山元交渉決裂にたいする当面の方針」（全文を三十一日発行のみいけ号外にけいさい）をきめた。

この中央委員会は、ひどい差別とはげしい切りくずし攻撃に耐えてたたかってきた力をさらにつよめて、ねばり強くたたかいぬく決意がみなぎり、不動の団結で、さらに強くなってくるにちがいない会社の攻撃に対決する闘争体制を確立する意思がかためられた。

そして、病気で療養中の三浦熊市さんからとどけられた議長あての「本日の中央委員会をお祝いする。議長殿、私は首切りをされた二〇〇名の一人であります。本日の中央委員会は闘う方向にもっていってもらいたい。ここで負けをとれば、敵は今より以上の差別待遇はもとより、労働強化、低賃金をおしつけてくるでしょう。

われわれ六、〇〇〇の組合員一人ひとりが一〇〇％でたたかえば、勝利することを断言する。私はいま、病床にたおれているが、一〇〇％以上の力でたたかうことを誓う。」

という手紙は中央委員会に参加していたみんなをつよく感動させた。

差別にゆるがぬ団結

中央委員会のあと、ただちに各職場・地域分会ごとに集会などがもたれたたかう体制の確立がいそがれ、三日午前十時から笹林公園でひらかれた「差別反対総決起大会」にむけて、その盛夢をもりあげていった。

三日の決起大会は盛大にひらかれた。晴れわたった夏空のもとに結集した一万二千の大合唱「炭掘る仲間」によって大会はじまり、中央委員会議長団、主婦会南場会長を議長に選んで大会の進行にあたった。

不当差別に反対してねばり強くたたかいぬく決意をこめた力強い宮川組合長のあいさつにつづく灰原書記長の経過報告のあと、大地評荒地評各単産代表から「不当差別に反対してともにたたかう」というはげましのことばがおくられたつづいて鉱鋼、旭ガラス労組、全九電労、京の上労組、小倉炭鉱労組、岩田屋労組など一日から三池に入っている組織オルグの紹介とあいさつがあり、社会党代表加藤勘十代議士、共産党代表八島中央委員候補、解放同盟福岡県連上杉書記長、総評、炭労代表がつぎつぎに立って激励のあいさつをおくった。

大会スローガンの採択にはいり

○生活と権利をふみにじり、平和と民主主義を破壊する反動政策を粉砕し安保体制を打し破よう
○全国の仲間とともに不当な合理化に反対し、政策転換をたたかいとろう。
○みんなで助け合いはげましあって労働者の正しさを守りぬこう
○卑劣な差別に反対しねばり強く不屈にたたかいぬこう。

のスローガンと、会社にたいする「抗議文」と「大会宣言」を満場割れるような拍手で採択した。

つづいて労働歌「がんばろう」を合唱、そのあと組合長の音頭で、くろがねのこぶしをつきあげて団結がんばろうを三唱し、デモ行進にはいった。

デモ隊は、築町から駅前通り繁華前とつきすすみ、はげしい怒りをこめて本社に抗議のデモをかけ、差別にゆるがぬ固い団結と、不屈にたたかいぬく決意をしめした。

大会宣言

今日「差別反対総決起大会」に結集したわれわれは、みんなで助けあい、はげましあって団結をかため、労働者としての正しさを守り、三池労組の組織破かいをねらう卑劣な差別攻撃に対決し、ねばり強く不屈にたたかいぬく決意をかためた。

就労後の職場で、十二名の同志の尊い生命を奪い、多数の仲間を傷つけるという保安無視の労働強化を強要し、職権をふりかざして組合活動の一切を職場からしめだそうとするファッショ的な攻撃を加えてきた会社は差別攻撃によって三池労組の団結を破かいしようという露骨なねらいをもった高姿勢を構えで対決をせまり、長期にわたってつづけられてきた山元交渉を決裂させた。

人権無視、人権じゅうりんの差別・切りくずしを強行してはばからない威丈高な会社は今後さらに露骨な差別・切りくずしにやっきとなり、どんなにつらくても不屈の闘魂を燃やしてあくまで正しい道をすすむわれわれに、はげしい攻撃で襲いかかってくるにちがいない。

しかし、われわれは安保と三池を正しくむすびつけ、働らく者の生活と権利をふみにじり平和と民主主義を破かいするすべての反動政策を粉砕し、安保体制を打破するたたかいの中核となり、全国の仲間と共に労働者をふみつけにする不当な合理化に反対し、政策転換をかちとるたたかいをすすめる決意を強くするものである。

われわれは、あくまで不当差別に反対し、ねばり強くたたかいぬく。

不屈の闘魂を燃やし、右宣言する。

一九六一年九月三日

三池炭鉱労働組合
差別反対総決起大会

遠藤裁判をみんなの力で勝利させよう

きたる九月十一、十二、十三、二十五、二十六、二十七日の六日間、福岡地裁民事部で遠藤分会長の不当解雇反対の法廷闘争がおこなわれます。この裁判は七月の公判にひきつづき、組合側の申請した証人の立証で会社側の不当な解雇を暴露し、われわれの解雇反対の正しさを主張するもので、裁判の進行上きわめて重要な意味をもっています。

そしてこの裁判は、次にひかえている百六十八名の不当解雇反対の闘いにも大きな影響をおよぼします。したがって遠藤裁判をたんなる一人の懲戒解雇反対の裁判としてみることなく、千二百名の不当な解雇反対の闘いの一環であり合理化反対の闘いとして、すなはち三池闘争の継続として再度認識する必要があると思います。

したがって、来る九月の裁判には組合員、主婦会の多数の傍聴者の参加を切に希望すると同時に、松川事件勝利の教訓に学び、全国の仲間に三池の火を燃やしひろげる運動をすすめ、みんなの力で勝利をつかむようよびかけます。

（提訴者同盟事務局長・岩山喜久蔵）

〔時のことば〕ベルリン問題

西ベルリンは東ドイツの中にある島のような地域で、占領当時そのまま米、英、仏三国が管理している。ソ連は最初この不正常な状態を正すため、東西両ドイツの統一による全面講和を主張したが、西独軍の核武装化、西ベルリンの軍事謀略基地化がすすみ、両ドイツの分割支配が固定化した現在、ベルリンを非武装の〃自由都市〃化しようと提案した。しかしそれも西側がうけ入れないなら、東ドイツと単独講和を結ぶといっており、アメリカを先頭にする西側は、これに対して軍備を増強、国際緊張をかもし出している。

みいけ日誌

8月28日　山元トップ交渉ニュースカーはたかぜ杵島労組へ
29日　山元トップ交渉決裂企画会議、大地評・荒地評合同書記長会議（三池労組のトップ交渉経過を報告）
30日　中央執行委員会、中央委員会ー山元交渉経過を確認し「当面の方針」を決める。大地評執行委員会
31日　九州炭労などに三池のトップ交渉経過を報告
9月1日　福岡県評大会第1日、各支部で組織オルグ情宣
2日　福岡県評大会第2日各支部で組織オルグ情宣
3日　差別反対総決起大会（笹林公園で）、各支部で組織オルグ情宣